



双子座三重奏団
クリスマス・ライブ?

2010年12月5日 (日)
アート・カフェ・フレンズ

Program

田中吉史：ジェルソミーナ・ディスタンツァ Gersomina-Distanza

原曲：Gersomina(曲：Nino Rota) 映画《道 La Strada》より

A. シェーンベルク：ガラテア

Arnold Schönberg: Galathea (詞：Frank Wedekind)

J.S. バッハ：《クリスマス・オラトリオ》より

第5曲：如何にしてわれは汝を迎えまつり

第7曲：彼は貧しきさまにて地に來りましぬ／たれかよくこの愛を正しく讃えん

第8曲：大いなる主、おお、強き王

Johann Sebastian Bach: Weihnachts-Oratorium

Nr.5 Wie soll ich dich empfangen

Nr.7 Er ist auf Erden kommen arm / Wer will die Liebe recht erhöhen

Nr.8 Großer Herr, o starker König

(詞：Christian Friedrich Henrici)

伊左治直：ファンファーリア Fanfaria

大村雅朗：SWEET MEMORIES* (作詞：松本隆)

伊左治直：竜の湯温泉郷への追憶【委嘱初演】

A. ペルト：2つの子守歌*

1. 聖夜の子守唄 2. エストニアの子守唄

Arvo Pärt: Zwei Wiegenlieder

1. Рождественская колыбельная 2. Eesti hällilaul

~~~~ 休憩 ~~~~

G.F. ヘンデル：《メサイア》より〈ラッパが鳴り響き〉

George Frideric Handel: Messiah - The trumpet shall sound (詞：Charles Jennens)

新垣隆：インヴェンション あるいは 倒置法 III【委嘱初演】

新垣隆：ゆうひが丘の総理大臣+α

A.C. ジョビン：サンバしか踊らない\*

Antônio Carlos Jobim: So Danço Samba (詞：Vinicius de Moraes)

伊左治直：伯刺西爾音頭

中川俊郎：ミッシェル

原曲：Michelle (詞・曲：John Lennon / Paul McCartney)

中川俊郎：Xmas Song of Birds【初演】

\*編曲：双子座三重奏団

## 委嘱作品 曲目解説

### 伊左治 直：竜の湯温泉郷への追憶

---

竜や（その同類の）蛇の名がついた温泉は多い。湯煙は竜の吐息であるとか、地下を巡る熱湯は竜そのものであるとか考えられていたことに由来するのだろう。また、温泉は異界との境でもあり、事実「地獄」の名のつく温泉も存在する。そして、この双子座三重奏団という、ある意味現実離れした個性の演奏者たちをイメージしたとき、ピアノの内部がこの世とあの世の境のような、なにやら沸き上がる温泉のように見えてきた。そしてまた、この作曲でわたしは、日本人にとって温泉と芸能がその本質において強く結びついている事を再認識させられた。

#### 伊左治 直（いさじ・すなお）プロフィール

ブラジル音楽やサッカー、日本史、民俗学が好きな作曲家。よく間違えられるが「伊佐治」ではなく「伊左治」が正解。、2008年に作品集CD『熱風サウダージ劇場』（FOCD-2565）を制作。吹奏楽作品に《南蛮回路》《夕焼けリバーズJB急行》など。来年春には金管六重奏団による新作初演予定。

### 新垣 隆：インヴェンションあるいは倒置法Ⅲ

---

双子座三重奏団のためのはじめての作品である。

'83年の6月、現代音楽祭「今日の音楽」のトップバッターはアメリカから来日した「THE」という声とトランペットのデュオだった。実際には行かなかったそのコンサートのプログラム解説と演奏写真を眺めているだけで私は幸せだった。その前年、この音楽祭の作曲コンクールに私は応募した。偶々音楽事典で見た凶形楽譜を真似てこりゃ入賞間違い無し、と意気揚々と提出した。本日のコンサートは私の中ではここからそのまま繋っている。

曲は4つの楽章からなり、全体は冒頭部のありとあらゆる様々な変奏と解釈出来る。

#### 新垣 隆（にいがき・たかし）プロフィール

1970年生まれ。作曲を南聡、中川俊郎、三善晃の各氏に師事。ソプラノ、ユーフォニウム、ピアノよりなる「モック・アンサンブル」のメンバー。双子座三重奏団とは姉妹関係にあたる(笑)。桐朋学園大学非常勤講師。

### 中川 俊郎：Xmas Song of Birds

---

この作品は、大きく分けると朗読と器楽との交替で出来ている。器楽の部分には声も使用されているが、朗読に対立し、朗読の内容を「反語的に」音で説明するという役割を担っている点で、器楽と同一のものとしていくぶん即物的に扱われている。

そして、曲中で唯一歌として歌われるのは、クリスマスライブにちなんで、カタロニア民謡「鳥の歌」の「歌詞」であるが、美しいもとの旋律(カザルスのチェロの演奏で有名な…)は排除されて、まったく別な旋律がつけられている！

が、民謡のテキスト自体は、キリストが生まれたのを鳥が賛美しているものであるから、真実クリスマスにふさわしいものである。

#### 中川 俊郎プロフィール（次ページに掲載）

## Profile

### 双子座三重奏団

Trio des Gémeaux

2005年に結成された三重奏団。メンバーは曾我部清典、中川俊郎、松平敬の3人。全員が双子座であり、演奏家と作曲家、編曲家の二つの顔を持つ。本日は双子座三重奏団名義での6度目のライブとなる。本三重奏団の主な初演作品：川島素晴「Das Lachenmann II」、山根明季子「Transcend-b」、伊東乾「調教と傷心のアメリカ」、鈴木治行「蛇行」、神長貞行「道」、中川俊郎「三寒四温」、松平敬「双子座三重奏曲」、曾我部清典「月の船」など。

### 曾我部 清典 (トランペット)

Kiyonori Sokabe

6月7日愛媛県生まれ。東京芸術大学卒業。近藤譲音楽監督のムジカプラクティカメンバーとして現代音楽を演奏、解散後も内外の新作初演に数多く携わる。小島録音より4枚のCDをリリース。「透明な孤独」レコード芸術誌特選盤。「トキノコダマ2」音楽現代準特選盤。2000年より度々、欧州主要都市でソロリサイタルを開催、注目を浴びる。NHK「FMリサイタル」に2度、同「現代の音楽」にゲスト出演。オルガニスト飯靖子、ピアニスト堀江真理子とのデュオリサイタルを展開中。上野の森ブラスコンサートマスター。ブラスエクストリームトウキョウ代表。コンテンポラリーαメンバー。洗足学園音楽大学講師。日本トランペット協会常任理事。

■ホームページ：<http://www.jade.dti.ne.jp/~ebakos/>

### 中川 俊郎 (ピアノ・作曲)

Toshio Nakagawa

6月4日東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部作曲科卒業。作曲を三善晃、ピアノを故・末光勝世、故・森安耀子各氏に師事。70歳になるジョン・ケージを迎えて行なわれた「MUSIC TODAY '82 (武満徹企画構成)」の一環として開催された10周年記念国際作曲コンクールで、自作自演で第1位。ジョン・ケージにも高く評価される。88年村松賞、およびグループ「アール・レスピラン」の一員として第12回中島健蔵音楽賞を受賞（現在は同グループを脱会）。2009年サントリー芸術財団主催で、全曲オーケストラ作品による個展を開催。それに対して、第28回中島健蔵音楽賞を受賞。現在、日本現代音楽協会理事、日本作曲家協議会理事。作曲家団体深新會会員。CM音楽の分野でも受賞多数。今までの他のコラボレーションの相手には、邦楽囃子笛方の福原徹、映画「千と千尋の神隠し」の主題歌で知られる作曲家・歌手の木村弓などの各氏がいる。東芝EMIから烏龍茶のCMばかり集めた“chai”、ピアノソロアルバムを兼ねた作品集“Cocoon utao”、クラシックの名曲の中国楽器によるカバーアルバム“Chai Classic”をリリース。

### 松平 敬 (バリトン)

Takashi Matsudaira

5月31日愛媛県生まれ。東京芸術大学卒業、同大学院修了。2000年よりほぼ毎年ドイツのキュルテンで開催されたシュトックハウゼン講習会へ参加、シュトックハウゼン作品の作曲技法や正統的な演奏法について学ぶ。同講習会に於けるコンサートにも3度出演し、2007年「シュピラール」の演奏に対してシュトックハウゼン賞を獲得する。これまで湯浅譲二、クセナキスなど全曲前衛作品ばかりによるリサイタル、全曲シェーンベルク作品によるコンサートなどを開催、「音楽の友」誌上などで高い評価を得る。2009年にはシュトックハウゼンの大作「私は空を散歩する」を日本初演。声楽家としての活動に加え、作曲、編曲、合唱指揮、「レコード芸術」誌への執筆なども行う。現在、文教大学、聖徳大学講師、日本声楽アカデミー会員。今年2月には、初めてのソロCD《MONO=POLI》を発売。13～21世紀の声楽アンサンブル作品を取めたこのアルバムのソプラノからバスまでの全声部（最大16声）は、多重録音によって一人の声のみで演奏されている。

■ウェブサイト：<http://matsudaira-takashi.jp/>